

緊急安全情報

2011 年 4 月 15 日

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

骨髄採取後、急性C型肝炎を発症した事例

このたび、2月上旬に骨髄提供されたドナー（30代、男性）が、約40日後に体調不良を訴え、その後の検査において、急性C型肝炎を発症していることが判明した事例が報告されました。

現在、ドナーが入院している施設からの報告では、対症療法により症状は改善傾向を示しているとのことです。

また、現段階で原因の特定はできておりません。従いまして、骨髄採取との因果関係は不明ですが、財団としましては調査委員会を設置し、今後、感染ルートなどについて情報収集、調査を行うこととしております。調査結果につきましては、判明次第ご報告いたします。

○現時点で把握している情報

- ・骨髄採取前の確認検査、術前健診においては、HCV抗体検査：陰性、骨髄採取後の術後健診時の検査結果においては、肝機能検査（生化学）に異常を認めておりません。
- ・現在、入院している施設からの報告では、HCV抗体（Ⅱ）：陰性、HCV-RNA：陽性であり、急性C型肝炎と診断した。

財団法人骨髄移植推進財団

ドナー安全委員会 事務局

ドナーコーディネート部 折原 橋下

TEL 03-5280-2200

FAX 03-5283-5629